

※この記載例は、特定監理技術者を配置した場合の一例です。
 施工体制の状況に応じて適宜記載方法を変更してください。

現場代理人および主任技術者等通知書

□□ 年 □ 月 □ 日

練馬区長
 ○○ ○○ 殿

契約書の発注者名を記入する。

通常は契約書の契約期間の初日を記入する。

住所 東京都
 練馬区□□□□○丁目○番○号
 □□□□建設株式会社

氏名 代表取締役 ○○ ○○

受注者

契約書の受注者名を記入する。
 住所等は契約書記載のとおりに記入する。

現場代理人および主任技術者等を下記のとおり定めたので別紙経歴書を添えて通知します。

工事番号	○ 工事 第 ○ 号	契約番号 (契約ID)	○0000-○-000	
工事件名	○○○○工事			
工事場所	練馬区○○○○□丁目地内			
契約金額	¥000,000,000- (うち消費税および地方消費税の額 ¥00,000,000-)			
契約年月日	□□ 年 □ 月 □ 日	工期	□□ 年 月 日 から □□ 年 月 日まで	
技術者分類	技術者氏名等	建設業法上の該当資格 に○を付ける。	備考	
現場代理人氏名	ふりがな	建設業法第7条 第2号のイ、ロ、ハ	現場代理人と 主任技術者、 監理技術者または 監理技術者補佐は 兼任できる。	
	電話 番号			会社 昼 00-0000-0000 夜 000-000-0000 個人 昼 000-0000-0000 夜 000-0000-0000
	(連絡用メールアドレス)			○○○○○○○○○@○○.○○.○○
主任技術者氏名	ふりがな	建設業法第7条 第2号のイ、ロ、ハ		
監理技術者氏名	ふりがな	建設業法第15条 第2号のイ、ロ、ハ	資格者証(監理技術者講習修了履歴)を 監督員に提示すること。	
	監理技術者補佐氏名	ふりがな	・建設業法第15条 第2号のイ、ロ、ハ ・1級土木施工管理技士補	
専門技術者氏名 ()	ふりがな	建設業法第7条 第2号のイ、ロ、ハ	()内には専門技術者を置いて施工する工事の建設業法上の区分を記入する。	
電気保安技術者氏名	ふりがな	建設業法第7条 第2号のイ、ロ、ハ	資格は別紙経歴書に記入する。	
	ふりがな			
受注者(JVの場合幹事会社)の許可区分等	土木一式・建築一式・電気・管・鋼構造物・舗装・機械器具設置・造園 水道施設・その他() 大臣・知事 特定・一般 第 号			

監理業務受託者	担当者名
---------	------

注1 受注者(JVの場合幹事会社)の許可区分等の欄は、監理技術者を設置した場合のみ記入すること。

注2 監理技術者が監理技術者資格者証を提示した場合には、経歴書の添付は不要。